

ロシア学者コーエン：ロシアについて良いことを言っても、誰もピンとこない

アダム・シフのプーチン無知を、スティーヴン・コーエンが笑う

【訳者 Greatchain】

我々にはほぼわかっていたことだが、ロシアとアメリカの溝の深さは、コーエンによってますます明瞭になった。これはアメリカの墮落と衰退を、絵に描くような話である。「勝つためには敵を知る」というような動機が、ここには全くないことがわかる。これでは「アメリカ例外主義」どころか、アメリカの敗北しかないであろう。

問題は、我々の社会に、このような潮流が入ってきて、アダム・シフ思想が間違っ受け取られ、ロシアの評価が逆になるという怖れである。そんなことはあるまいと思うが、メディアがそれを言い続けられれば、何が起るかわからない。これは我々の倫理道徳の話、人間が腐るか腐らないか、目が覚めるか覚めないかという、教訓としてとらえるべき話題である。

RT.com

January 28, 2020



トランププーチン 「ロシアを再び偉大に」

米大統領ドナルド・トランプに反対する抗議者が、2019年6月、ニューヨークで行われたラリーで、これを掲げている

「米議会のヘビー級ボクサー、アダム・シフは、ロシアを深く誤解しているにもかかわらず、モスクワのバッシングをやり続けている。その理由は、ワシントンでは、そうすることが〈政治的に有利〉ということになっているからだ」と、ロシア専門家 Stephen Cohen は語った。

「ロシアに対して高度に批判的であることは、アメリカでは立派な政治家の証なのだ」と、ニューヨーク大学と、プリンストン大学の、ロシア研究の名誉教授コーエンは、月曜日にオンライン・アップロードされたインタビューで、*Grayzone* のジャーナリスト Aaron Mate に語った。

「ロシアについて何かよい発言をしても、誰も反応しないのだ。そして、ロシアとのどんなパートナーシップを論じても、反応が返ってくることはまれだ。」

コーエンは、「ロシアをバッシングすることは、多くの人々にとって政治的に有利なのだ」と言い、2020年の大統領選レースの〈進歩的な〉民主党候補でさえ、モスクワに対して敵意をもっている者たちがいると言った。

「物事がうまくいかないときに、ロシアを非難することが、アメリカの処世術になってしまった。もちろん時には、アメリカが悪い場合もあるが、それはいつもそうなのではない。にもかかわらず、それが我々の物の考え方の一部になっている。」

RT.com 関連情報：「弾劾：民主党は“独裁者”を叫び、トランプ・チームは“選挙干渉”を叫ぶ」

米民主党をリードする弾劾を管理者、アダム・シフ議員は、上院の裁判の間、しきりにロシア口にした。民主党がドナルド・トランプを追放しようとするのは、彼らの思惑では、トランプがウクライナに対する軍事援助を、一時、打ち切ったことで、それは彼が、キエフに圧力をかけて、2020年選挙のライバルである、前副大統領ジョー・バイデンと息子のハンターの取引を、調査させようとしたのだと主張した。ウクライナに武器を送るのは、〈ロシアの拡張主義に歯止めをかけるという、アメリカの恒常的な利益〉に資するものだと、シフは論じた。

しかしコーエンは、キエフに武器を送ることは、アメリカが、ウクライナの指導者ボロジミール・ゼレンスキーの、平和的な手段で、ロシアとの紛争を解決する努力に背を向けるものと言った。それとは逆に、ワシントンは、交渉しようとする隣人たちを勇気づけることが肝心だと言った。

「もしゼレンスキーが、プーチンとの彼の平和交渉に対して、十分なアメリカの援助を得られるなら、それは彼に大きな力となるだろう。」

上院の議場においてシフは、モスクワを非難して、彼らは民主主義と、世界中の政治制度への信念を、覆そうとしていると言った。

コーエンは、この議会人は、ロシア大統領ウラジミール・プーチンが、現実に、「私自身の歴史的な使命と考えている」と語ったことを誤解していると言い、それはシフが、プーチンが言ったと主張していることとは、ほとんど逆だと言った。

この研究者によれば、プーチンの主たる野心は、「ロシアを建て直し」、ソ連邦の崩壊の後、「1990年代に、それが陥った惨状から回復させる」ことである。

「プーチンが最も望まないこと——それは不安定だ。彼は国家内部の経済と、外国諸国との経済的安定を確立しようとしている。それこそ彼が、ロシアを現代化する方法と見ているからだ。

コーエン教授は、モスクワは現在、中国との絆を固めようとしている。しかし同時に、ヨーロッパともアメリカとも、よい取引関係をもちたいと考えている、と言った。

「彼が不協和を求めているという馬鹿な考え——しかも〈近代化された取引関係〉において、彼が望んでいる国家との関係において——それを求めているという考えは、アダム・シフの側で作られた無知に過ぎない。シフは、ロシアについてとても雄弁なので、我々にはその無知の種類がわかってくる …それはワシントンの政策立案者たちの、とても大きな領域を支配している無知だ。」

——以上